

幸まちづくり協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。

あいさつ運動



毎月1回(8月を除く)、校区内通学路8か所で小学生や地域住民に朝のあいさつを呼びかけています。



さいわい出前サロン

泉町自治会に出向き、バルーン教室を開催することで各世代がともに交流しました。

平成24年4月にスタートした幸まちづくり協議会は、幸小学校校区の市街地にあり、8つの町と大黒田町内9地区の計17自治会(人口約7500人)で構成されています。地域では、ちょっとした手助けがあれば活動できる方もいるので、地域内で自然に動ける雰囲気作りが重要です。そして、大人は地域の子どもたちを見守り、子育て中の親子を支え合う気持ちも大切だと考えています。

そこで、「であい、ふれあい、ささえあいのまち幸」をスローガンに、高齢者や身体・精神的にハンデを背負った人たちを含めた全ての人々が、お互いに見守り・支え合いながら、住み慣れた地域でいつまでも暮らせる幸地区をめざして、事業・行事に取り組んでいます。



さいわい寺子屋サロン

地域の児童と住民が、一緒に食事をしたり、勉強やゲームをしたりと交流することで、絆を深めています。

私たちの取り組みは、子どもたちの居場所づくりのために「さいわい寺子屋サロン」を年5回実施し、子どもたちと地域の方との交流の機会を作っています。

また、幸公民館まで出かけられない高齢者や幼児のために「さいわい出前サロン」を年3回実施し、各自治会の集会所で3世代交流をしています。他にも、地域活性化に繋げるため、各部会で様々な取り組みをしています。

今年度から「住民自治協議会」の準備が始まっています。改革をしつつ新たな方向を地域の方と模索していければと思います。

活動紹介

お知らせ

幸てくつく 100人ウォーキング



設立年度から始めて、これまで8回実施しました。9回目は令和3年2月に予定しておりますので、皆さんご参加ください。



さいわい寄席

笑いで人と人の輪を広げようと、寄席を開催しています。出囃子や4人の方(中学2年生を含む)に古典落語を上演して頂きました。



防災訓練

南海トラフ地震のような大地震を想定し、家から1日分の非常用グッズをリュックに入れて歩いて避難所に行き、心肺蘇生やAEDの取り扱いについて学びました。



小冊子刊行

「幸地区の歴史と文化再発見の会」が地区の街道・古い建造物・町並み、伝統等を調査し、持ち歩きやすい小冊子にしました。